

# うつくしま ゆめだより

福島県広報誌

平成23年  
8月1日  
特別号

## ふくしまの今～がんばっています!ふくしま～



おおくまサロン  
「ゆっくりすっぺ」

ふくしま総文に向けて  
安積黎明高等学校からた部

旬を迎えたふくしまの桃

県立原町高等学校  
福島西高等学校内サテライト

メディカルショージャパン  
福島県からの出展企業

もくじ

特集/「元気なふくしまを取り戻すために」  
県からのお知らせ  
施設のご案内  
市町村イベント情報

2 がんばっています!ふくしま  
4 相談窓口一覧  
6 応援メッセージ  
6



### 主な相談窓口一覧

相談内容	受付時間・担当部署など	電話番号
原子力災害	放射線に関する問い合わせ (毎日・午前8時30分～午後9時)	024(521)8127
	原子力損害の賠償などに関する問い合わせ (毎日・午前8時30分～午後9時)	024(523)1501
生活・労働	県内の応急仮設住宅などへの入居及び被災住宅の改修に関する事 被災者住宅相談窓口専用ダイヤル	024(521)7698 024(521)7867
	県外に避難した人の相談 県災害対策本部 県外避難者支援チーム または避難元(先)の自治体	024(523)4157
	労働に関する相談 県中小企業労働相談所(平日・午前9時～午後4時)	0120(610)145
事業者	就業・生活に関する相談 ふるさと福島就職情報センター(就職相談) ジョブカフェふくしま(月～土・午前10時～午後7時) Fターンセンター東京(月～土・午前10時～午後6時)	024(525)0047 03(3545)6140
	就職・生活に関する相談 ふくしま求職者総合支援センター(生活相談) 郡山窓口(月～金・午前8時30分～午後5時) 福島窓口(月・火・木～土・午前10時～午後6時30分)	024(995)5057 024(525)2510
	就職・生活に関する相談 ふくしま就職応援センター(就職・生活相談) 白河窓口(月～土・午前10時～午後7時) 会津若松窓口(月～土・午前10時～午後7時) いわき窓口(月～土・午前10時～午後7時)	0248(25)0041 0242(27)8258 0246(25)7131
健康	経営に関する相談 県産業振興センター	024(525)4039
	金融に関する相談 県庁経営金融課	024(521)7291
	工業製品の残留放射線相談 県ハイテクプラザ(月～金・午前9時～午後4時)	024(959)1739
健康	こころの健康に関する相談 (精神的な悩みや相談など) 福島いのちの電話(毎日・午前10時～午後10時) こころの健康相談ダイヤル(月～金・午前9時～午後5時)	024(536)4343 0570(064)556
	県民健康管理調査(調査全般に関する事) (問診票への記載方法などに関する事) 県災害対策本部 健康管理チーム(毎日・午前8時30分～午後7時) 福島県立医科大学県民健康管理調査事務局 (土日祝日除く・午前9時～午後5時)	024(521)8028 024(549)5130

※記載のないものは、月～金・午前8時30分～午後5時15分

**応援メッセージ 自衛隊**

陸上自衛隊福島駐屯地  
第44普通科連隊  
ごんた 権田 淳吾さん

「どんなに時間をかけてでも、最後まで、できるかぎり頑張ります」と自衛隊員の権田さん(山形県出身)からの力強いメッセージ。南相馬市などで、人命救助・捜索活動やがれき撤去、物資運搬などに奮闘。「現地に向かうとき、地元の方が毎日待っていて手を振ってくれるのが励みになっています」と精悍な顔をほころばせました。

**応援メッセージ 東京都**

東京都被災地支援福島県事務所  
(左から)黒岩 幸三さん、  
早川 剛生所長、船川 勝義さん

震災後の3月25日に東京都からの派遣で来県して以来、ずっと福島に住んで支援事務を行っている東京都被災地支援福島県事務所の皆さん。名刺の住所も福島県です。「電力供給でお世話になってきた恩返しのためにも、できることは手を惜しまずに応えていきたいです」との温かいメッセージをいただきました。

**福島県**

【編集・発行】福島県広報課  
〒960-8670 福島市杉妻町2番16号  
TEL.024(521)7014

**編集後記**

震災後初めての「うつくしまゆめだより」の発行となります。このような時期になりましたことをまずはお詫び申し上げます。復興に向けたさまざまな動きがスタートする中で、この「うつくしまゆめだより」でも、県民の皆さん、各地に避難されている皆さんの心をつなぐお手伝いができたらと考えています。皆さんとともに、一歩ずつ前に進んでいきたいと思っております。(K)

次回の「うつくしまゆめだより」は「10月1日」発行の予定です。





# 元氣なふくしまを 取り戻すために

## 復興へのカギ

東日本大震災の発生からもうすぐ5カ月になるうとしています。地震、津波、原子力災害、風評被害。福島県はこれまで経験したことのない困難な状況に置かれています。

その中でも「放射線」への不安は、震災以降私たちの生活に暗い影を落としています。

私たち一人一人が元氣を取り戻し、ふくしまを復興するためには、この目に見えない「放射線」といかに向き合い、対策を講じていくかにかかっているといっても過言ではありません。そのための、県の取り組みをまとめました。

## 健康調査で被ばく線量を推計

県では、東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、6月から県民健康管理調査を開始しました。対象は、す

べての県民の皆さん(基本的に3月11日時点で県内に居住していた人)で、問診票による基本調査を行い、必要に応じて詳細な調査を実施しながら、将来にわたる健康管理を行っていくというものです。

ただし、自宅、勤務先については、木造またはコンクリート造の記載は不要です。  
・屋外にいた時間を矢印の隣に記載し、その場所について右欄に記載してください。  
・県外での滞在時間は「滞在場所：屋内」に、移動、屋外もまとめて記載ください。

滞在場所	時刻						地名・施設名
	0	3	6	9	12	15	
屋内		①			④		①自宅 ②自宅の畑 ③車内 ④遊樂所 ⑤〇〇市△△体育館 ⑥〇〇市△△町字xx
移動			③				
屋外			②(80分)			⑤(120分)	

実際の行動

滞在場所	時刻						地名・施設名
	0	3	6	9	12	15	
屋内							

県民健康管理調査 問診票(記入例)

具体的には、基本調査として、まず問診票により3月11日以降の皆さんの行動記録から、被ばく線量を推計します。3月中の主な出来事を記したカレンダーも配布し、記憶の手掛かりとしてもらう予定です。結果は後日、一人一人にお知らせします。

さらに、計画的避難区域などから避難した人や基本調査によって一定量の被ばくをしたと考えられる人には、詳細調査を実施。血液検査や尿検査などを行い、疾患の有無を調べる予定です。万が一、異常などが見つければ、専門の医療機関で診療を受けることになります。

## 「数値」で理解する

自分の被ばく線量を知ることが、言い換えれば、放射線という目に見えないものを具体的な数値で理解すること、ということでもあります。漠然とした放射線への不安を払拭し、県民の皆さんに安全・安心を提供したいと考えています。

県民健康管理調査は、今後数十年にわたって一人一人の健康管理を行っていくものです。県民の皆さんのご協力をお願いします。

## 身近な環境の放射線量 低減に有効

実証試験の中では、校舎の雨水の排水管付近の地表1センチで最大毎時47マイクローベルトという高い放射線量が測定されました。しかし、たまたま流した後に測定すると、放射線量は毎時1.1マイクローベルトに低下。約40分の1に下げることができました。



このことから、土砂を取り除き、洗い流すという比較的簡単な作業でも、放射線量を低減させるのに十分な効果があることがわかりました。

この実証試験を基にした放射線量低減対策を活用し、県民の皆さんの生活環境における放射線量を少しでも減らしていきたいと考えています。

## 子どもたちを守るためのさらなる対策

以上の取り組みに加え、県では「ふくしまの子どもを守る緊急プロジェクト」に着手しました。

学校などやその周辺の安全・安心を守ることはもちろん、子どもたち一人一人の健康を守るための取り組み

## 未来へ向け、ともに歩んでいくために



東日本大震災の発生以降、県民の皆さんには御苦勞、御心勞をおかけしております。

県では、暮らしの安全・安心を守るため、皆さんの健康を最優先に考え、健康管理調査や放射線の低減策に取り組んでいます。特に、本県の未来を担う子どもたちが元氣に暮らせる環境をつくるため、できる限りの手立てをとってまいります。

県内外で避難生活を余儀なくされている方々を始め、県民の皆さんが、一日も早く安心して元の暮らしに戻り、ふくしまの未来づくりに向け、ともに歩んでいけるよう、これからも全力を尽くします。

## 放射線量低減のための実証試験

6月下旬、福島市内で行われた、「放射線量低減対策モデル事業」。子どもたちが受ける放射線量をできるだけ減らそうと、校舎や通学路のあらゆる場所を調査、放射線量が高いのはどういう場所か、どうしたらその放射線量を下げられるのか、という実証試験です。



くらいの驚きで世界に受け止められるはず。ピンチをチャンスに変え、世界に誇れるふくしまとなることを信じて、前を向いて歩んでいきましょう。

## ふくしまっ子夏の体験活動応援事業

●夏の体験活動応援補助事業  
期間◎9月30日(金)まで  
対象◎幼児・小学生・中学生(引率者にも基準により補助)  
内容◎県内で実施する自然体験や交流活動(部活動を含む)などの費用を補助します。  
補助額◎宿泊費1泊7千円(7泊まで。食費を含む)、交通費等5千円(活動費を含む)、保険料1千円※いずれも1人当たりの上限額

◇活動団体としては、市町村や各種団体(PTA、スポーツ少年団、子ども会など)を想定しています。が、既存の団体のほか、子どもが5人以上集まった団体であれば申し込みます。旅行会社を通じての申し込みとなります。取扱旅行会社はホームページでも確認できます。

問 県教育庁社会教育課  
☎024(521)7799

HP 福島県教育庁社会教育課 検索

●自然の家体験活動応援事業  
期間◎夏休みの期間、9月中の土・日・祝日など  
対象◎幼児・小学生・中学生・その家族  
場所◎会津自然の家  
内容◎①日帰りの自然体験や創作活動など  
②泊3日などの親子による自然体験や創作活動、文化の再発見など  
参加料◎無料(食費、材料費を含む)

問 会津自然の家  
☎0242(83)2480

## ピンチをチャンスに

今回、原発事故の被災地として「フクシマ」の名は世界中の人々の心に刻まれました。しかし、この災害を乗り越える姿は、被災したことに同じ

## ふくしまの子どもを守る緊急プロジェクト

- 学校の安全・安心を守る  
校庭などの表土改善、校舎の空調設備の導入
- 暮らしの安全・安心を守る  
通学路などの除染の支援、都市公園の表土改善
- 子どもの健康を守る  
個人線量計の配付、内部被ばく量測定機器整備
- 子どもの元氣を守る  
ふくしまっ子夏の体験活動応援事業 など

お願い  
震災に便乗した悪質商法や詐欺、  
不審電話に注意！

住宅の点検にかこつけて高額な料金を請求する悪質商法や、「義援金を振り込むので口座番号を教えてください」といった不審な電話に関する相談が寄せられています。

●あやしい訪問や電話があったら、その場で応じず、すぐに周囲の人や県消費生活センターへ連絡・相談してください。

●住宅の修理などの契約をする場合には、複数の業者から見積もりを取り、十分に検討した上で契約してください。

問 県消費生活センター  
024(521)0999

HP 福島県消費生活センター 検索

内  
消費生活無料法律相談・  
生活再建等相談

消費生活センターでは、消費生活相談員による相談対応のほか、次の相談窓口を開設しています。

●弁護士・司法書士による法律相談  
●ファイナンシャルプランナーによる生活再建等相談

内  
東日本大震災による  
定期予防接種の特例

東日本大震災により、医療機関の被災や本人の避難などやむを得ない事情で、定期の予防接種を予定どおり受けられなかった人について、救済措置が設けられています。

●定期予防接種の対象年齢を過ぎてしまった人↓本年8月31日まで接種対象者として接種することができます。

●定められた間隔で接種できなかった人(対象となる予防接種)ジフテリア、破傷風、百日せき、日本脳炎↓避難などのやむを得ない事情が消滅した後、速やかに接種した場合は、定期予防接種として認められます。

問 お住まいの市町村窓口、  
または避難先の市町村窓口

内  
県内観光有料道路  
三路線の無料開放

県内の観光有料道路三路線(磐梯吾妻スカイライン、磐梯吾妻レークライン、磐梯山ゴールドライン)を無料開放しています。県内の観光地を旅し、地元のおいしいものをたくさん食べ、ホテル・旅館でゆっくりとくつろぐ。県内への小さな旅が、地域の活性化と福島県の復興へつながります。

相談日時や相談方法など詳しくは、ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

問 県消費生活センター  
024(521)0999

受付時間 8時30分～17時15分  
FAX 024(521)7982

電子メール soudan\_keihatu@pref.fukushima.jp

HP 福島県消費生活センター 検索

内  
原子力災害に伴う資金融資

警戒区域などから移転を余儀なくされた中小企業を対象とした「特定地域中小企業特別資金」の貸付を行っています。

福島県内の移転先で事業を継続・再開するために必要な運転資金・設備資金を無利子・無担保で融資する制度です。ご利用ください。

融資限度額 3000万円以内

問 (公財)福島県産業振興センター  
024(525)4019

内  
ナースバンク事業

就業を希望する看護職の人に対し、ナースバンク事業(無料職業紹介事業)を実施しています。

無料開放にあわせ、さまざまな特典企画やイベントの開催なども予定していますので、ぜひ、家族や友人を誘ってご利用ください。

期間 11月15日(火)(今期営業終了日)まで

問 県庁観光交流課  
024(521)7398

HP http://www.pref.fukushima.jp/kanko/

募集  
緊急雇用創出基金事業  
「がんばろう福島の企業」  
産業復旧・復興事業

東日本大震災及び原発事故による被災者や求職者の雇用を確保するとともに、成長産業分野や新規創業、事業再開を目指す企業等における人材確保・育成を支援するための事業を実施しています。

事業内容 産業人材育成に必要な指導・研修を企業・民間団体などに委託し、避難者などの求職者に対して雇用の場を確保するとともに、企業などの人材育成に要する経費の支援を図る事業です。

- ①成長産業振興事業
  - ②新規創業支援事業
  - ③事業再開・復興応援事業
- 事業要件・委託料  
各担当課へお問い合わせください。

今回、東日本大震災により、被災した看護職の人の再就業を支援するため、通常の就業相談に加え、避難所巡回相談を行っています。巡回日程については、ホームページなどでお知らせします。

問 (社)福島県看護協会

受付時間 8時30分～16時30分  
土曜・日曜、祝日、年末年始を除く

024(934)0500  
FAX 024(991)5560

HP http://www.nurse-center.net/

内  
自動車税減免申請期間延長

身体などに障がいのある人のために使用される自動車で、4月1日現在、一定の要件に該当する場合は、納税義務者の申請により自動車税の減免を受けることができます。

今年度は震災の影響により定期課税を延期しているため、5月末までとしていた申請期間を10月末まで延長しています。

なお、現況報告書で継続減免を受けられる人などへ、5月下旬に送付する予定だった減免承認通知書の発送も合わせて延期しています。

問 最寄りの県地方振興局県税課  
または県庁税務課  
024(521)7070

内  
平成23年度自動車税の定期課税

東日本大震災に伴い平成23年度の自動車税の課税を延期しています。が、原子力災害に係る一部地域を除き、次の日程で課税を実施します。

●納税通知書の発付日 9月7日(水)

●納期限 10月31日(月)

なお、この間に車検有効期間が満了する自動車については、平成22年度の納税証明書(平成23年10月30日まで有効)で車検を更新することができます。

問 最寄りの県地方振興局県税課  
または県庁税務課  
024(521)7070

内  
平成23年度調理師試験及び  
製菓衛生師試験の中止

東日本大震災及び原発事故の影響により、平成23年度の調理師試験及び製菓衛生師試験を中止することとしました。

なお、参考として、近隣自治体における試験の日程などをホームページに掲載していますので、ご覧ください。

問 県庁食品生活衛生課  
024(521)7245

HP 福島県食品安全のページ 検索

問 在学している学校  
または県教育庁学習指導課

024(521)7775

HP 福島県奨学金案内 検索

募集  
警察官・県職員の採用候補者

採用候補者試験を次のとおり行います。

【警察官】

募集職種 警察官B(男性/一般、女性/一般)

受験資格 昭和53年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた人(大卒または卒業見込者は除く)

受付期限 7月15日(金)～8月19日(金)

第一次試験 9月18日(日)

【県職員】

募集職種 県職員(高校卒程度)行政事務、警察事務、土木

受験資格 平成2年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた人(大卒または卒業見込者は除く)

受付期限 8月1日(月)～8月26日(金)

第一次試験 9月25日(日)

問 県人事委員会事務局  
024(521)7590

HP 福島県人事委員会 検索

# がんばっています!ふくしま

## 「ゆっくりすっぺ」(おおくまサロン)

避難している町民の皆さんの交流と憩いの場として大熊町が会津若松市内に開設したサロン。運営に協力するボランティアも大熊町民です。「これからさまざまなイベントを企画していきたい」と大熊町保健福祉課の鈴木京子さん。この日も立ち寄った皆さんが、お茶を飲みながらほっと一息。くつろぎながら情報の交換をしていました。



問 大熊町保健センター ☎0242 (26) 3844

## ふくしまの桃

旬を迎えたふくしまの桃。福島市の鈴木将之さんの果樹園でも、6月下旬から9月末まで、10種類近くの品種が次々と収穫期を迎えます。今年の桃は例年より出来がいいと鈴木さん。原発事故の影響で先行きに不安を感じているとのことでしたが、「安全性の確認された桃をぜひ皆さんに食べてほしい」と明るく答えてくれました。「おいしい」の一言が私たちを元気づけてくれるんです。」



県オリジナル品種の桃「ふくおとめ」(6月下旬~7月初め)を収穫する鈴木さん



## 県政広報のお知らせ

### 県政テレビ番組

うつくしま情報局/福島テレビ(FTV)  
◎毎週日曜日 9:45~10:00

がんばろう!ふくしま/福島中央テレビ(FCT)  
◎毎週土曜日 11:40~11:55

ウィークリー県政トピックス/福島放送(KFB)  
◎毎週日曜日 17:25~17:30

ウィークリー県政ナビ/テレビユー福島(TUF)  
◎毎週日曜日 11:40~11:45

### 県政ラジオ番組

知事室からこんにちは(うつくしまふるさとだより)/ラジオ福島(rfc)  
◎毎月最終火曜日 12:30~12:45

ふくしまEVENING BREAK/ふくしまFM  
◎毎週月~金曜日 17:30~17:35

Web広報誌やバックナンバー、番組の詳細などは福島県のホームページをご覧ください。

HP 広報ステーション

検索

表紙に登場した皆さんの紹介です

## サテライト校で学ぶ

警戒区域などにある県立高等学校に在籍しながら、各地の協力校内に開設されたサテライトで学ぶ生徒たち。県立福島西高等学校の校舎には、津波や原発事故の影響で福島市などに避難している県立原町高等学校の50人あまりの生徒が通学。入学式には間に合わなかった制服も、卒業生の協力などでそろいました。



「わあ、取材だ」と照れながらも歌声を響かせてくれました。



## ものづくり企業の底力

6月に横浜で開催された国内最大級の医療機器展示会メディカルショージャパン&ビジネスエキスポ。震災の影響を乗り越え、被災した企業を含め15社が「福島県パビリオン」に出展。福島県ものづくり企業の底力と熱意を全国へ向けて発信しました。



福島県パビリオン出展者の皆さん

## その一枚を取るために

「文化部のインターハイ」第35回全国高等学校総合文化祭が8月3日(水)~7日(日)福島県で開催されます。会津アピオで開催される小倉百人一首かるた部門に県代表として出場する県立安積黎明高等学校かるた部。「地元開催なので、目標は優勝です」と、主将の角田葵さん(3年)。実行委員の堀田千裕さん(3年)は「全国の仲間と会えるのは楽しみ。来てよかった、楽しかったと言ってもらえるおもてなしをしたい」と語ってくれました。『元気出していきよ!』『よっしゃ!』



「目標は優勝!」

## 施設のご案内

環境水族館 アクアマリンふくしま いわき市小名浜字辰巳町50 ☎0246(73)2525

**7月15日(金) 再オープンいたしました。**

◎入館料: 一般・大学生1,600円  
高校生・小中学生800円  
未就学児無料

◎年中無休

HP アクアマリンふくしま 検索

福島文化財センター白河館 まほろん 白河市白城一里段86 ☎0248(21)0700

収蔵資料展 発掘された浜通りの遺跡

東日本大震災に関連して、まほろんに収蔵されている浜通り地方の遺跡から出土した土器や石器などの考古資料を展示し、地域の当時の生活・文化・歴史を紹介します。

◎開催日: 11月6日(日)まで

◎観覧料: 無料

◎休館日: 毎週月曜日と9月20日(火)、10月11日(火)、(9月19日、10月10日は開館) 7月20日(水)から8月28日(日)は無休

HP まほろん 検索

福島県立美術館 福島市森合字西鼻山1 ☎024(531)5511

がんばろう福島 生きる力・美の力 福島県内美術館作品展(仮称)

「がんばろう福島」を合言葉に、NPO法人福島県立美術館協会の支援を得て、県内の各美術館の個性的なコレクション(所蔵美術品)を紹介する展覧会を開催します。

◎開催期間: 9月10日(土)~10月16日(日)

◎入館料: 一般・大学生600円、高校生以下無料

HP 福島県立美術館 検索

福島県立博物館 会津若松市城東町1-25 ☎0242(28)6000

予告 秋の企画展 生誕400年「保科正之の時代」

保科正之の生誕400年を記念して、正之の生涯を振り返り、幕府や会津藩の基礎固めをした足跡をたどります。また、親交の深かった大名家に残された資料を紹介し、正之が活躍した時代にせまります。

◎開催期間: 10月8日(土)~11月27日(日)

◎入館料: 一般・大学生500円、高校生300円  
小・中学生は200円

◎休館日: 月曜日(ただし10/10は開催) 10/11(火)、11/24(木)

HP 福島県立博物館 検索

## 県内市町村イベント情報

金山町 沼沢湖水まつり  
期間 8月6日(土)~7日(日)  
場所 沼沢湖畔  
問 金山町商工観光係 ☎0241(54)5327

本宮市 本宮市夏まつり  
もとみや麦酒まつり  
がんばろう!もとみや花火大会  
期間 8月15日(月)~16日(火)  
場所 サンライズもとみや、中條特設会場  
阿武隈川河川敷(16日花火大会)  
白沢シルバースポーツセンター(15日のみ)  
問 本宮市観光物産協会 ☎0243(33)1111

須賀川市 釈迦堂川全国花火大会  
期日 8月20日(土)  
場所 須賀川駅前河川敷  
問 須賀川市釈迦堂川全国花火大会実行委員会事務局 ☎0248(88)9144

喜多方市 きたかた喜楽里博  
期間 9月17日(土)~11月19日(土)  
場所 市内各地  
問 きたかた喜楽里博運営委員会 ☎0241(24)5200

会津坂下町 ばんげ秋まつり  
期間 9月17日(土)~18日(日)  
場所 役場前メインストリート(ライヴァン通り)  
問 会津坂下町観光物産協会 ☎0242-83-2111

休館中の施設 ○ビッグバレットふくしま 郡山市南二丁目 ☎024(947)8010

福島県文化センター 福島市春日町 ☎024(534)9191

震災の影響により貸館業務は休止していますが、本格的な文化施設を有しない地域を巡回する舞台芸術公演「ファミリーシアター」や「移動子ども映画会」などの事業を県内各地で実施しています。

HP 福島県文化センター 検索

## ワンポイントアドバイス

## 放射線と健康に関するQ&A

夏を迎え、日常生活への疑問など、相談窓口寄せられる質問の中から主なものを紹介します。

Q1 避難指示の区域や計画的避難区域以外での日常生活について

- 散歩をしてもよいか
- エアコン・換気を行ってよいか
- 洗濯物を外に干してもよいか
- 半袖を着ても大丈夫か

A. 現時点で、散歩や洗濯物、エアコンの使用、部屋の換気、半袖を着るなど、日常生活には影響ありません。放射性物質は「ちり」のようなものですが、文部科学省の調査では、6月末の時点で、空気中のちりから放射性物質は検出されていません。

Q2 避難指示の区域や計画的避難区域以外の自家菜園の草刈り、作付け、野菜を洗って食べることは大丈夫か

A. 草刈りや野菜などの作付けを行っても大丈夫です。農作業時には、必要に応じて手袋や帽子、マスクを着用するなど、農作業に適した服装を。摂取制限の指示が出ている野菜は食べないようにしてください。

県のホームページにも掲載しています。HP 放射能に関する知識 検索